

先行研究の日本語タイトル [1]

福島大理工 おなまえ

概要

本論文では…（背景・手法・結果を 200 字程度でまとめる）

1 研究背景

分野の状況 研究分野の現状を，歴史的経緯などを含め簡潔に文章でまとめる．

分野の課題（紹介する研究に対する）先行研究を整理し，これまで何が課題とされてきたのかを文章でまとめる．

研究の目的 本研究の目的は何かを文章でまとめる．

新規性 これまでの研究と何が違うのかを文章でまとめる．

期待される効果 この研究によってもたらされる効果に関して文章でまとめる（研究の意義）

2 理論（手法）の概要

- 作用： $S = \frac{1}{2} \int d^4x \sqrt{-g} (R + 2\Lambda + \mathcal{L}_m)$
- 各項がもたらす物理的な影響など
- 解析手法など
- 数値解析の対象となる式，初期条件など

3 主な結果と考察

- 数値解析結果の物理的意味に関する結果と考察に関してまとめる

4 結論と展望

結論 本研究によって示されたことをまとめる．

展望 今後の研究に関して，どのようなことを考えているかをまとめる．

5 メモ

自身の研究とのつながり 研究の背景や目的を考える上で、どのような点が参考になったかをまとめる.

わからなかったこと 論文を読み進めるうえで、わからなかったことをまとめる.

専門用語 論文に出てきた日本語訳の難しいと感じた専門用語をまとめる.

参考文献

- [1] Özenç Güngör and Glenn D. Starkman, “A classical, non-singular, bouncing universe”, *JCAP* **2021**: 003 (2021).